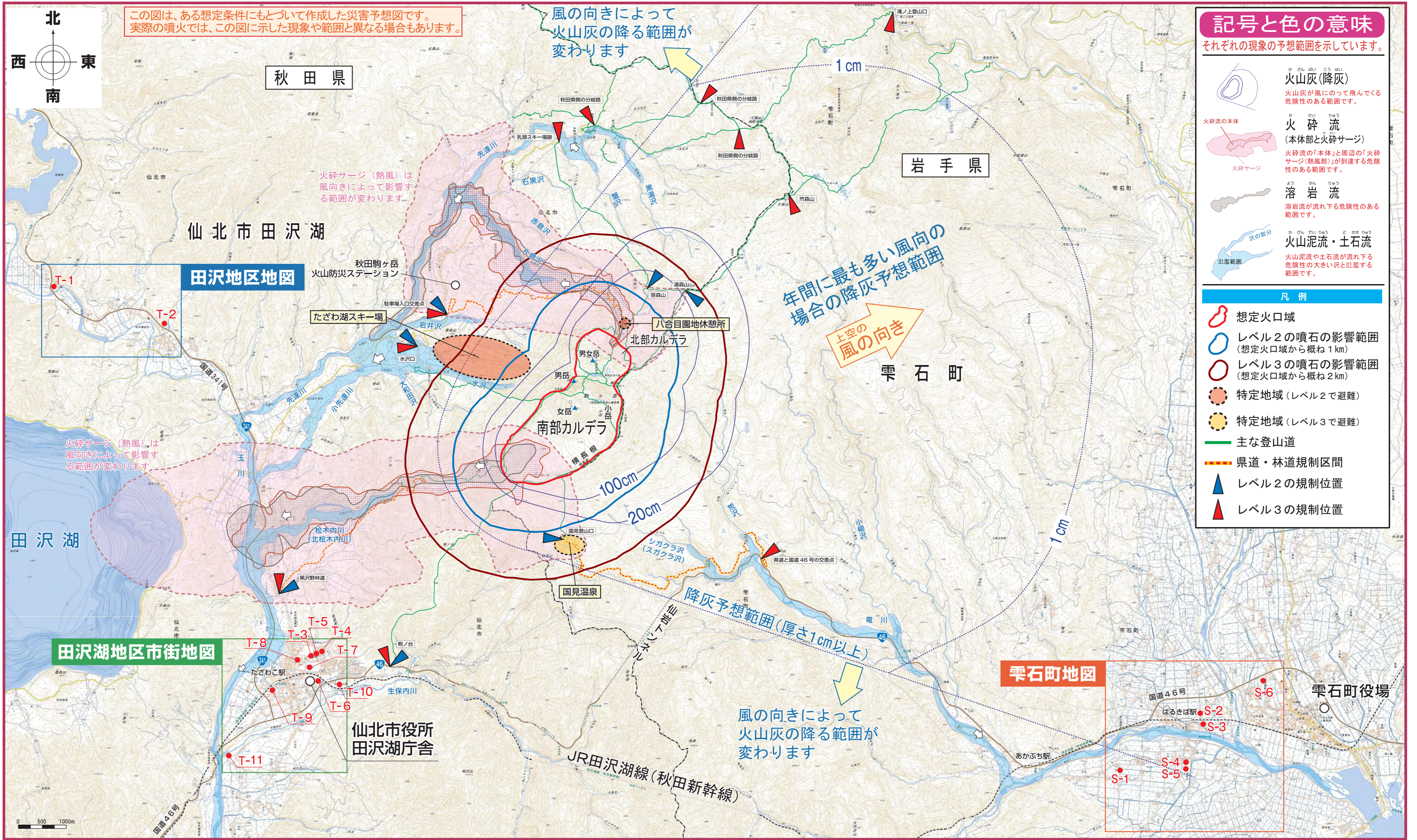


秋田駒ヶ岳火山防災マップ

秋田駒ヶ岳は
活火山です

万が一の噴火に備えて



避難場所位置図

避難先・経路等については、**防災行政無線**による誘導や指示に従ってください。

お問い合わせ先 仙北市役所 TEL 0187-43-1111



秋田駒ヶ岳では「噴火警戒レベル」を運用しています

噴火警戒レベル
火山活動の状況に応じて警戒が必要な範囲と住民等のとるべき防災対応を5段階に区分した指標で噴火警報や噴火予報に付して発表します。

予報警報	対象範囲	レベル	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が居住地域まで到達、あるいは切迫している。 過去事例：有史以降の事例なし
		4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者及び特定地域の避難、住民の避難の準備等が必要。 危険な地域への立入規制等。	●火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が居住地域まで到達するような噴火の発生が予想される。 過去事例：有史以降の事例なし
火口周辺警報	居住地域から火口側近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。危険な地域への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難等、高齢者等の要配慮者の避難準備が必要。	●想定火口域から概ね2km以内に大きな噴石の飛散するような噴火の発生、またはその可能性。 ●想定火口域から居住地域近くまで火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が流下するような噴火の発生、またはその可能性。 過去事例：1970年女岳からの噴火
		2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難等が必要。	●想定火口域から概ね1km以内に大きな噴石の飛散するような噴火の発生またはその可能性。 過去事例：1932年南部カルデラ内(石ボラ)での水蒸気爆発
噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難準備等が必要。	●火山活動は静穏。 ●状況により想定火口域内に影響する程度の噴出の可能性あり。

- ### 非常持ち出し品 普段から準備しておき、一年に一回は中身を確認しましょう。
- ヘルメット(防災ずきん)
 - マスク
 - 毛布、タオル、アルミシート
 - 常備くすり、救急品、お薬手帳
 - 健康保険証
 - 懐中電灯(予備電池)
 - 着替え 長そで上着、シャツ、ズボン下着、くつなど
 - 手ぶくろ・軍手
 - かさ・カッパ
 - 非常食 水3ℓ以上、乾パン、ビスケット、保存パン、缶詰、レトルト食品、アメ、チョコなど
 - 現金・小銭
 - 携帯電話、モバイルバッテリー
 - ろうそく・ライター
 - ゴーグル(火山灰除け)
 - リュックサック
 - 預金通帳・印鑑
 - ラジオ(予備電池)
 - 赤ちゃんがいる場合
 - ほ乳ビン・ミルク・おむつ
 - お年寄りいる場合
 - 常備薬など

- ### もし噴火が始ったら...
- 正確な情報(気象庁からの「噴火警報」など)を聞く。
 - デマやうわさに惑わされないようにする
 - 避難する場合は、あわてず落ち着いて行動するよう心がける。

- ### 避難する場合は...
- 左の絵のような格好が避難に適しています。
 - 避難の前に戸締まり、電気、ガスの元栓を確認しましょう。また、避難する際は、近所に声掛けをして避難しましょう。
 - あわてず落ち着いて速やかに行動しましょう。
 - お年寄り、赤ちゃん、身体の不自由な人、外国人など言葉が分らない人の避難を助けましょう。
 - 市街地では車はつかわず徒歩で移動しましょう。
-

防災メモ欄 ~家族の連絡先などを確認~

名前	電話番号	メモ欄

わが家の避難場所